

Tera TermによるパソコンとM-1895の接続方法 (RS232C ケーブル使用)

1. 概要

ここでは、フリーソフトのTera Term Pro (Version2.3) を使用してパソコンとM-1895を接続してデータ転送するまでの手順を説明します。
コントロールソフトXPROMをお持ちでない場合に使用します。

2. パソコンとM-1895の接続

RS232C ケーブル (ストレート) で接続してください。

3. M-1895 側の設定

インターフェース条件の設定 (BAUD RATE・PARITY・CHARACTER・STOP BIT・CONTROLLE)
設定方法: Mode System Config ENT RS Config ENT
で通信設定を変更します。設定を終了する時にはSTART キーを押します。
この設定は、電源を切っても有効です。

インターフェースの設定

設定方法: Mode Remoto Mode ENT IF Select ENT
Interface Select [RS-232C]

インターフェース設定をするにはSTART キーを押します。
この設定は、電源を切っても有効です。

転送フォーマットの設定

設定方法: Mode System Config ENT Data Format
転送フォーマットを設定します。設定をするにはSTARTキーを押します。
この設定は、電源を切っても有効です。

M-1895 バージョンアップ時は設定を再度確認願います。

4. パソコン側の操作

パソコンを立ち上げTera Term Pro (Version2.3) を起動する。

Setup Serial port setup Port 「COM1」にして、Baud rate
Date (CHARACTER)・Parity Stop・Flow ControlをM-1895側で設定した値と同じに合
わせ
ます。

キーボードから「Ctrl」を押しながら「E」を2回押して下さい。

(入力はすべて大文字)

ロムライタの液晶表示が「Remote Mode」となり、パソコン画面上に「#」マークが表示されます。(この状態にならない時は、通信条件が合っていないかケーブルに問題があることが考えられます)

上記のような状態になっていれば、パソコンがロムライタのターミナルとして動作していますので、「#」マークに続けてコマンドをキー入力していただければリモートで操作が可能です。コマンドの内容については「#」のあとに「H」「リターン」によりヘルプが表示されますので参考にしてください。

5. パソコンからロムライタへのデータのダウンロード

「RL」と入力し「リターン」

(ロムライタの表示が「Date Transfar/Serial Input/Intel Hex Input」

選択したフォーマット名に変わりデータフォーマットの入力待ち状態となり、キーボードからの文字入力は受け付けなくなります。)

Tera Term の「File」の「Send file」をクリックし、ダウンロードしたいファイル
を

選択し「開く」をクリック。するとダウンロードが開始されます。

正常にダウンロードが終了すると、ロムライタの液晶表示は「Remote Mode」に戻り、パソコンの画面上に「PASS、RL」と表示されますのでこれで完了です。

平成 16 年 11 月
ミナトエレクトロニクス株式会社